

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	24160
事業名	観光統計調査費					
評価担当課	所 属	経)観光・MI 観光・MICE			電話番号	211-2376
施策名	－					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外					
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	本市を訪れる観光客の動態は年々変化しており、今後も本市の観光振興を推進していくためには、観光客の入込数や消費動向を把握していくことが重要となっている。
	事業内容(何を実施し)	①観光客入込数調査:市内宿泊施設と交通事業者に対し、利用者数のアンケート調査を実施。 ②観光客動態調査:観光客の属性や来札目的を把握するため、新千歳空港にてアンケート調査を実施。 ③観光イベント経済効果調査:札幌で行われる特定のイベント等について、経済波及効果調査を実施。 ④観光客入込数調査に係る標本調査:市内複数の地点において時期ごとにアンケート調査を実施し、観光客入込数の推計に使用する「観光客率」を算出。 ⑤観光産業経済効果調査:市内・道内・国内・外国人観光客のそれぞれの観光消費額を中心に、観光産業の経済効果を算出するための調査・分析を実施。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	来札観光客の行動特性、満足度など札幌観光に関する統計情報を調査・解析し、今後の施策展開の基礎資料とする。
	他都市の状況	観光客の満足度や動態に関する調査は、仙台市、横浜市、名古屋市、京都市、神戸市等の政令市で実施している。また、「観光客率」は観光客入込数を推計する際に必要となるため、全国多数の市町村にて標本調査を実施しており、北海道庁においても、道内各市町村が一定期間毎に標本調査をするよう要領を定めている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	10,459 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.3 人工
令和5年度予算額	29,395 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.3 人工
令和5年度決算額	7,130 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.3 人工
令和6年度予算額	23,700 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	1.6 人工

指標	アウトプット活動指標1	観光客入込数調査における市内宿泊施設からのアンケート回		という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		150	200	121	200	200	
	↓						
	アウトカム成果指標1	観光客入込数の公表回数			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		2	2	2	2	2	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	アンケート調査への回答が事業者の負担になっていることが考えられるため、事業者の負荷を減らし、より情報収集が容易になるような仕組みの構築が必要である。					
	アウトプット活動指標2			という活動、業務を行うことで			
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	従来の統計調査を継続しつつ、時代に即した統計調査の手法についても検討を進めていく。